初めてでも安心!

~誰でも簡単にできる留学先の絞込みかた編~

ここではお子様のカナダ留学に大切な留学先の絞り込み方をご紹介しています。 この手順に沿ってお客様の希望を絞り込んでいただくと、驚くほど簡単にご希望に合う留学先に近づくことができます。

【ステップ1:公立・私立で分ける】

ステップ 1 ではカナダの公立高校・私立高校に留学かを選択します。以下は私立・公立の特徴について説明しています。

◆公立	◆私立
: カナダ人の 95%は公立へ進学	: 私立の多くはキリスト教系
: 滞在方法はホームステイ	: 留学費用は公立の 1.5 倍から 2 倍
: 留学先の選択肢が多い	: 滞在方法はホームステイ、又は寮
: 卒業後、カレッジ・大学進学する生徒多数	: 留学先の選択肢は限られる
	: 卒業後、大学進学する生徒多数

【ステップ2:気候の好みで分ける】

私立・公立が決まったら、次はお子様の気候の好みで大きく分けていただくことができます。もし、夏は温暖で冬は寒すぎないエリアを好まれる場合は、バンクーバーのあるブリティッシュコロンビア州(BC州)でお選び下さい(BC州だけでも30以上の教育委員会がございます)。BC州の夏季は湿気がなく非常に温暖、冬季は雨が多くなりますが寒さは日本の関東地方とそれほど変わりません。逆に、冬場の温度が氷点下10度以下となるエリアでも大丈夫というお子様であれば、BC州より東側のアルバータ州、マニトバ州、オンタリオ州などよりお選び下さい。

【ステップ3:都市部周辺 or 田舎部で分ける】

ステップ3では、都市部周辺か田舎部にするかで絞込みを行います。ここでの都市部 or 田舎部の定義は「カナダ国内で飛行機/フェリーへの乗り換えが必要かどうか」になります。

◆都市部→カナダ入国後、目的地まで国内線/フェリーへの乗換えが不要

◆田舎部→カナダ入国後、目的地まで国内線/フェリーへの乗換えが必要

<都市部周辺の教育委員会>

- : ブリティッシュコロンビア州の場合
 - →バンクーバー教育委員会、ウェストバンクーバー教育委員会、ラングレー教育委員会、コキットラム教育委員会、デルタ教育委員会、サーレー教育委員会、バーナビー教育委員会、リッチモンド教育委員会、ニューウェストミンスター教育委員会など
- : アルバータ州
 - →カルガリー教育委員会
- :マニトバ州
 - →ペンビナトレイル教育韻会
- : オンタリオ州
 - →トロント教育委員会、オタワ教育委員会、ヘースティング&プリンスエドワード教育委員会など

<田舎部周辺の教育委員会>

- : ブリティッシュコロンビア州の場合
 - →パウエルリバー教育委員会、ビクトリア教育委員会、バーノン教育委員会、トンプソンリバー教育委員会、ナナイモ教育委員会、クオリカム教育委員会、ガルフアイランド教育委員会、ドワイトハワードインターナショナル高校(私立)など
- : アルバータ州の場合
- →Iドモントン教育委員会、
- *未成年のお客様でも一人で飛行機の乗換えを行われています。

<注意点>

: 都市部周辺のエリアをご希望でホームステイのことが気になるお客様は、ホームステイ手配を直接行っている教育委員会がお薦めです。教育委員会が責任を持って、ホストファミリーのクオリティー管理も行っており、万が一、問題があった場合の対処もスムーズです(ホームステイの変更手続きはFSS-Osakaが行いますのでご安心下さい)。

逆に田舎部の場合、温かい家庭に当たる確率は比較的高くなります。

【ステップ4:入学時期で分ける】

通常、カナダの入学時期は9月と2月(中学は1月の場合もあり)です。ただし、教育委員会によっては4月の入学を認めている学区もあります。カナダの高校卒業を目指す場合は、9月・2月どちらの入学でも良いですが、1年間の留学後、日本の学校に復学する場合は、4月入学のある教育学区

を選ぶと日本の高校への復学がスムーズです。

<注意点>

- : 1 年留学の場合、カナダの単位を日本の高校が認定するかどうかは通われている高校の判断によります。そのため、単位が認められるかどうか、現在通われている高校に必ずご確認下さい。
- : カナダの高校を卒業する場合、Grade11,12(高校 2、3 年)の課程を修了することが義務付けられています。2 年間で卒業できるかどうかは、本人の日本での成績・留学時の英語力・カナダでの努力がほぼ100%のウェートを占めます。留学会社によっては2年間の卒業を宣伝文句にするところもありますが、カナダ国内で2年間での卒業を確約している教育委員会はございませんのでご注意下さい。ただし、生徒の能力・成長スピードに合わせて柔軟な単位取得システムを採用する教育学区はございます。高校2年生からの高校留学で出来る限り早く卒業されたいお客様は、是非、FSS-Osakaまでご相談下さい。

【ステップ 5: 夏休み中のプログラムがある or ないで分ける】

特に2年以上の留学をお考えの場合、夏休みの過ごし方も考えておく必要があります。 留学先の教育委員会が夏休み用プログラム(サマーキャンプ・単位取得コース等)を提供していない場合、1:一時帰国 2:近くの語学学校に通う(都市部周辺が主)という選択になります。

<注意>

中学生の場合、語学学校の英語コースへの参加は認められません(サマーキャンプは可)。

以上、5つのステップに沿って留学エリアを絞り込んだうえでFSS-Osakaにご相談いただくと、お客様の希望に合う教育委員会が必ず見つかります。

今すぐ、FSS-Osaka に連絡してご希望に沿う留学エリアを知りたいというお客様は以下よりご相談(無料)いただけます。お電話の場合は翌日、メールの場合はご相談・ご希望内容を確認した翌日(休日除く)にはお客様に合う留学先をご紹介させていただいています。